# 全国高圧ガス容器検査協会 2025 年度　第 1 回海外視察研修　報告書

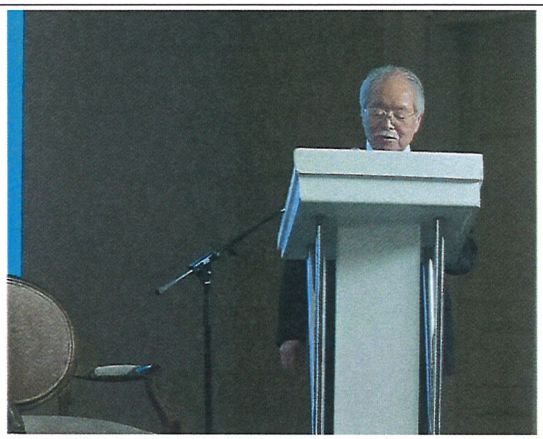
1. 実施概要
   - 実施日：2025 年 10 月 28 日～29 日
   - 訪問先：カザフスタン　アルマトイ（第 6 回　ASIA　PACIFIC　LPG　EXPO）
   - 参加者：6 名
   - 目　的：アジア圏における LP ガスの動向

2. 活動内容

【ASIA　PACIFIC　LPG　EXPO】

初めての中央アジアであるカザフスタンでの LP ガス事情についての情報を知る為に EXPO へ参加。また、現地での LP ガス容器についての調査。

【EXPO 会場】

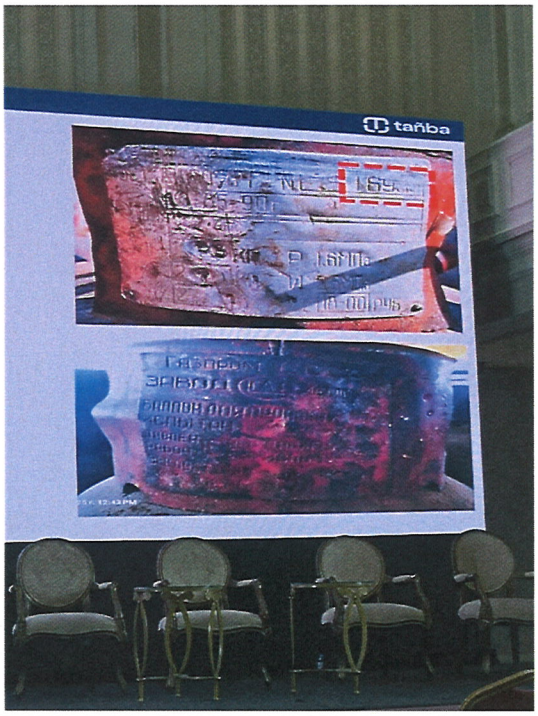
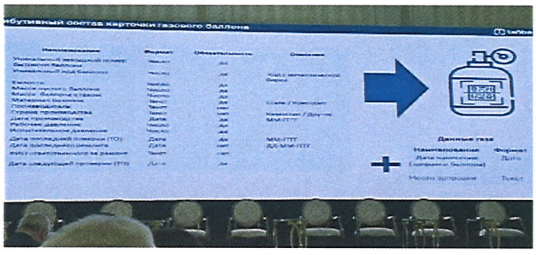
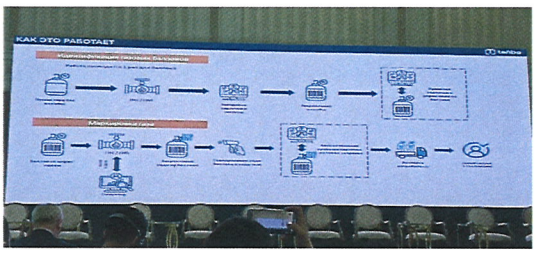
<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>会場内にて</td><td>出入口のパネル前にて</td></tr>
<tr><td> </td><td>  </td></tr>
<tr><td>荒畑顧問紹介</td><td>荒畑顧問のスピーチ</td></tr>
</table>

【LP ガス容器】

カザフスタン国内では今でも 30 年以上経過した容器が使用されており、毎年 100 件以上の事故が起きている。また、刻印も不明瞭なものが多く、法的に容器再検査に関して特に定めが無いようだった。1991 年 12 月 16 日にソビエト連邦から独立したことを考えると、旧ソ連時代の容器を使用していると思われる。

また、都市ガスのパイプラインにおいても同様で老朽化しているが交換が難しいという話もあった。

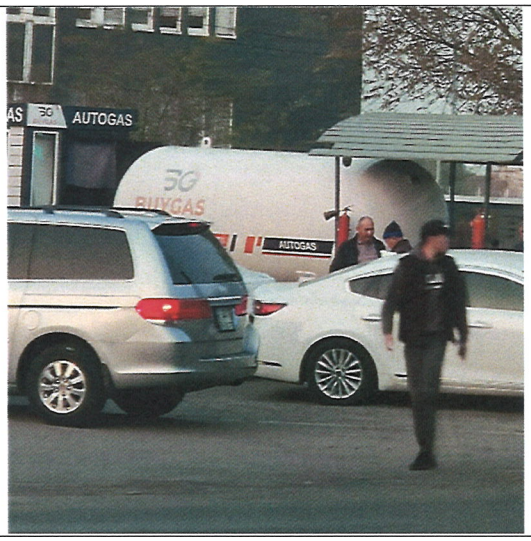
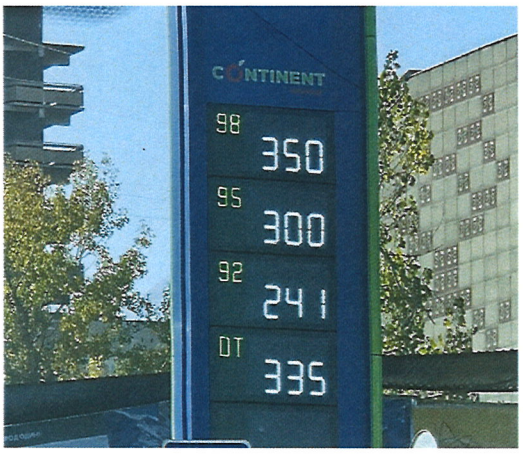
今後は、容器情報をバーコードや QR コードに登録して、充填などを含めた流通かていでもコードを使用して運営していくようです。

<table>
<tr><td> </td><td>  </td></tr>
<tr><td>30 年以上の容器と事故</td><td>刻印不明瞭</td></tr>
<tr><td>  </td><td>  </td></tr>
<tr><td>容器情報などもコードで管理</td><td>充填等の流通もコードで管理</td></tr>
</table>

【LP ガス自動車】

カザフスタンは、資源国で主にカザフスタン西側で産出されていて、余剰気味なことから自国での消費についていろいろと検討している模様です。そのためか LP ガス車の普及台数は世界で 7 番目となっていて、アルマトイ近郊のガソリンスタンドには必ずオートガス用の LP ガス貯槽が併設されていたり、道路沿いにオートガス用の貯槽とディスペンサーが設置されていたりと点在している。

※オートガス 1 リットル当たりの価格は、ガソリンの約半分とのこと

<table>
<tr><td> </td><td> 
</td></tr>
<tr><td>ガソリンスタンドの脇に LPG 貯槽</td><td>オートガス貯槽</td></tr>
<tr><td> </td><td> 
</td></tr>
<tr><td>オートガス貯槽とディスペンサー</td><td>95（ガソリン）＝300 テンゲ【約 91 円】</td></tr>
</table>

3. 学び・成果

・資源が豊かで安価なため、LP ガスの法整備が進めば安全なエネルギーとして需要が高まりそうと感じた。

・カザフスタン政府の方に日本の容器再検査を紹介したところ、いろいろと聞きたいことがあると日本の容器再検査に興味を示していた。

・アジア圏においては、これから LP ガスは普及しだす国もあれば、30 年以上も使用している国もあるが、どちらにしても容器再検査についてはあまり考えられていないように思える。

4. まとめ

・カザフスタンでは自国の資源が豊富なため、技術や産業が発達すれば LP ガスの可能性がまだまだ広がると思う。

・現在は直行便がないが、2026 年 4 月から直行便が出来るとのことなので日本との国交が盛んになることで LP ガスについても進展することを望みたい

5. カザフスタンはどんなところ？

カザフスタン（アルマトイ）の気候は、北海道と緯度が同じぐらいで 10 月 28 日に到着した時には紅葉が見ごろだった。葉が赤くなる樹木は少なく、黄色くなる樹木が多くみられた。治安は比較的良くて夜でも特に危険は感じなかった。カザフ料理は、比較的にボリュームがあり肉は馬肉をよく食べてそれ以外だと羊、牛、鶏が食べられる。豚は昔から食べる文化が無いとのこと。韓国系のお店に行けば豚肉を食べることが出来る。羊は最近の若い人たちは臭みがあるので食べなくなってきていて、逆にラクダは臭みが無くて美味しいとのこと。宗教は、遊牧民時代はテンクリ信仰でシャーマンなどが村にいたが今ではイスラム教徒が多い。ただゆるいイスラム教徒のようでお酒も普通に飲むし肉も食べるとのこと。人種的にはカザフ人（モンゴル系に近い）が 70%とその他はウイグル自治区の中国系、ソビエト時代のロシア系、強制移住させられた韓国系がいる。公用語はロシア語で国語はカザフ語言葉的には全く違い小さい頃から両方学び外国語として英語などを習う。

日本語：ありがとう
ロシア語：スパシーバ
カザフ語：ラフメット